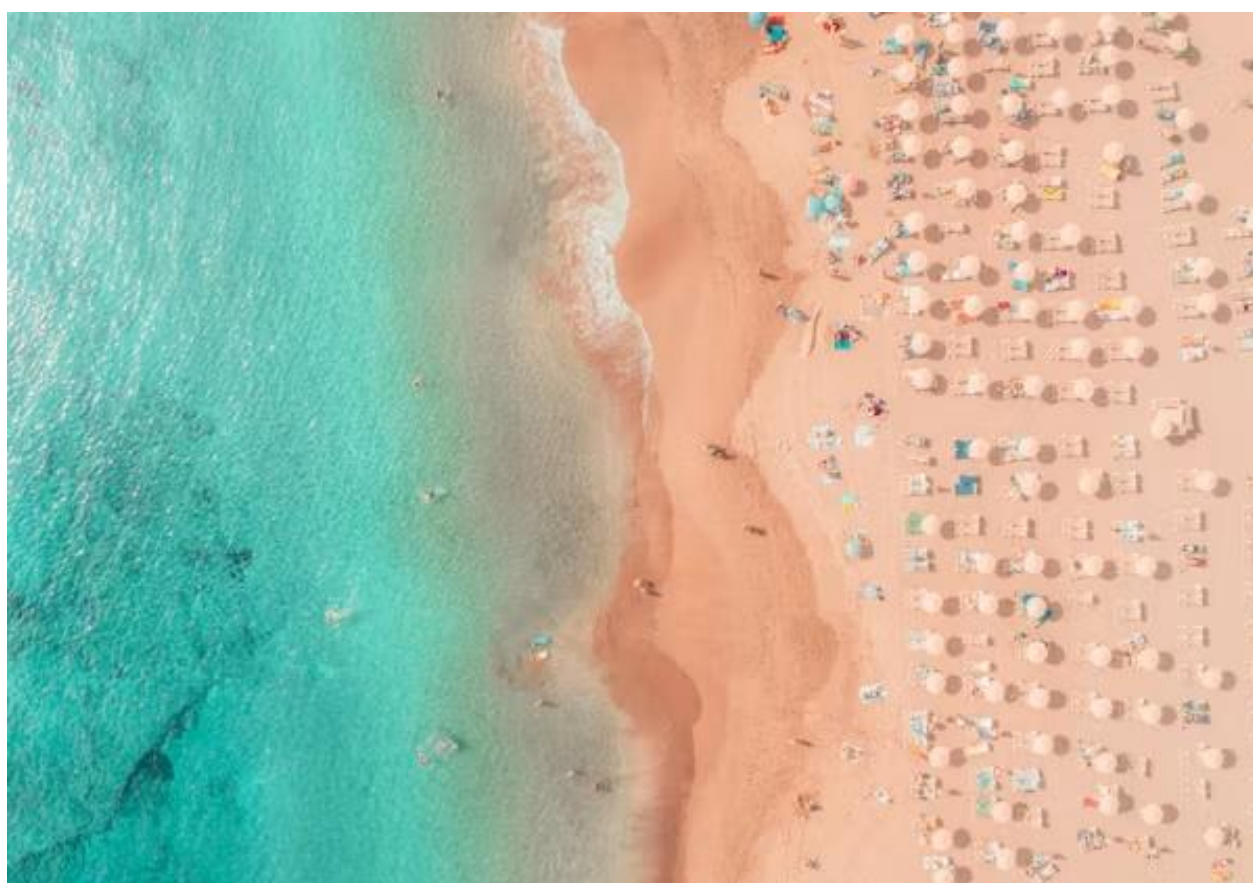


2026 年度法と心理学会オンライン研究会 夏合宿プログラム



スケジュール

第1日目（8月8日） 研究会、BBQ

13:45 **Jホテルりんくう 1F フロント前ホールにお集まりください**

<https://www.j-hotel-rinku.com/>

14:00～ 研究発表（フラッシュスピーチ）（会場は2F 会議室 MR-1）

<https://us02web.zoom.us/j/88689388686?pwd=hcbOdtYg3O8HIdLiiyQPAx5fKqtiYj.1>

※オンライン中継もします

16:30～ チェックイン、BBQ 会場へ移動（ホテルから徒歩 10 分程度）など

17:30～ BBQ（Link del mar）

<https://linkdelmar.hp.peraichi.com/>

20:00～ 自由時間

【希望者のみ】花火

りんくうビーチでは 21 時まで（時間厳守）花火を楽しむことができます

【希望者のみ】二次会

第2日目（8月9日） モーニング・ミーティング **チェックアウトは 12 時まで**

7:00～ モーニング・ミーティング

各プロジェクトの進捗報告、研究アイディアの紹介、情報交換、その他研究に関する相談など

J ホテルりんくう近隣のお店・アクティビティのご紹介 ★ 詳細は各 URL をご参照ください

【スーパーマーケット】

◆ イオンモール常滑 9 時～22 時まで

<https://tokoname.aeonmall.jp/>

【コンビニエンスストア】

ホテル近隣にはないようですが、一つ手前の常滑駅前にミニストップがあります

【居酒屋】

一つ手前の常滑駅近隣に多数あるようです いくつかご紹介いたします

◆ よなよな 17 時～0 時まで

<https://yonayona-tokoname.owst.jp/>

◆ 肴ダイニング彩波 17 時～0 時まで

<http://www.navimail.jp/iroha/>

◆ 古窯庵 17 時～0 時まで

<https://tabelog.com/aichi/A2304/A230402/23045776/>

【アクティビティ】

◆ りんくうビーチ

<https://rinku-beach.jp/>

◆ 常滑温泉マーゴの湯 10 時～23 時まで

<https://tokoname-magonoyu.ma-go.co.jp/>

宿泊施設

場所：

Jホテルりんくう <https://www.j-hotel-rinku.com/>

〒479-0882 愛知県常滑市りんくう町3-2-1

※ 名古屋駅より名鉄空港線にて45分→りんくう常滑駅下車徒歩1分

※ 中部国際空港より車で約10分（りんくうIC）

アメニティ：

■客室内アメニティ

ドライヤー、タオル、バスタオル、シャンプー・コンディショナー、ボディソープ、液体石鹸、洗顔ソープ、歯みがきセット、ナイトウェア、スリッパ、コーヒー・お茶セット、ミネラルウォーター

■アメニティーバイキング（フロントにあります）

カミソリ、ブラシ、コットン、綿棒、入浴剤各種、ボディータオル、基礎化粧品、ヘアターバン

浴場：

各客室にユニットバスあり（大浴場はありません）

その他：

- ・1泊2食付き（夕食はBBQ）
- ・Wi-Fi あり
- ・駐車場あり（宿泊期間内は無料）

参加される先生方へのお願い

当日は猛暑が予想されますので、各自、**熱中症対策**をお願いいたします！！

帽子・日傘・タオル・日焼け止め・飲料水等、各自、ご持参ください。

とくに BBQ は会場がビーチなので十分にご注意ください。

研究発表（フラッシュスピーチ）※ 順番はお申込み順

8月8日 14:00 ～ 16:30

- 一人当たりの持ち時間は 10 分とします。その中で、ご自身の話題提供と質疑応答はご自由にご配分ください。一人当たりの持ち時間が短くなってしまったので、申し訳ございませんが、研究会後に開催される BBQ や二次会等で議論を深めていただけたらと思っております。
- 会場に備え付けの PC はありません。スライドを使用する場合、各自 PC を持参するか、スライドを保存した USB を持参してください。なお、使用するケーブルは HDMI ケーブルになります（HDMI ケーブルは会場にあります）。
- オンラインでも同時に中継いたします。
- 下記のタイムテーブルは目安です。当日、臨機応変に対応いたします。

14:00～ 報告準備（PC 調整など）、開会のあいさつ

- | | | | | |
|---|------------|-----------------------------------|------|--------|
| 14:30～ | FS1 | アメリカ合衆国における刑事司法制度と AI 利用 | 緑大輔 | 一橋大学 |
| アメリカ合衆国の刑事司法制度において、AI の利用に関する議論を各場面で確認できる。顔認識システム、混合 DNA 型分析、再犯リスク評価、職務質問時の不審事由評価等である。これらの場面で共通して問題となるのは、AI 自体の判断の正確性や、AI に依拠した人の判断の正確性である。基本的には企業秘密とされやすい AI のアルゴリズムについて、正確性を検証し、あるいは担保するための制度的な枠組みが議論になっている。アメリカの議論状況を素描し、刑事訴訟法学の観点からみた AI 利用の在り方に関する問題の所在を整理したい。 | | | | |
| | | | | |
| 14:40～ | FS2 | 抑圧された記憶と記憶の不正確性に関する日米の信念比較 | 福島由衣 | 京都女子大学 |
| 本研究では、「抑圧された記憶」や記憶の不正確性に関する信念の文化差を、日本人 490 名、アメリカ人 423 名（計 913 名）を対象としたオンライン調査で比較した。調査では Anderson et al. (2025) を参考に作成した 17 項目を用いた。抑圧された記憶の存在は両国で広く支持 | | | | |

されたが米国の方が有意に高かった（90.3% vs. 79.4%）。しかしその一方で、アメリカ人参加者は記憶が不正確で変容しうるという認識も日本人参加者より高く、矛盾した信念を示した。想起不可能な強い抑圧に対する日本人参加者の支持は低かった。誤った記憶信念は文化を超えて広がる一方、その内容や構造は文化により異なることが示唆された。

- | | | | | |
|---------------|------------|---|-------|---------|
| 14:50～ | FS3 | 虚偽記憶の抑制に向けた脳刺激研究 | 島根大輔 | 高知工科大学 |
| | | 虚偽記憶を人為的に抑制することができれば、司法場面の問題に対処することができるかもしれない。これまでの研究では、記憶の変容や虚偽記憶の形成に関与する脳の動態が同定されてきた。本研究は、この脳活動に脳刺激的手法で介入することで虚偽記憶の形成を制御することを目指している。本発表では、直近に実施した脳刺激の研究結果と、その結果に基づく虚偽記憶の抑制研究の構想を発表する。 | | |
| 15:00～ | FS4 | 法哲学上の概念に関する実証的研究 | 綿村英一郎 | 大阪大学大学院 |
| | | 法哲学では、刑罰の正当化をめぐり、応報、特別予防、一般予防、教育といった概念が中心的役割を果たしてきた。しかし、これらの概念が一般市民や法実務家にどのように理解され、判断に影響を与えているかについては十分な実証的検討がなされていない。本発表では、近年の実験哲学や法心理学の知見を踏まえ、法哲学上の概念を対象とする実証的研究の可能性と課題を整理する。さらに、概念分析と実証研究を接続することで、法哲学研究に新たな展望を提示することを目指す。 | | |
| 15:10～ | FS5 | 非-自然としての法：法心理学の進化心理学的基礎づけに向けて | 向井智哉 | 福山大学 |
| | | 本稿は、法心理学的バイアスを進化心理学、特にエラー管理理論から理論化する可能性を検討する。人間の心理メカニズムは、小規模集団における対面的・反復的な相互作用の下 | | |

で形成され、危険、敵味方、裏切り、評判に敏感に作動すると想定される。他方、現代の裁判は、証拠能力、無罪推定など、直感的判断を抑制する人工的制度である。この環境的不一致に着目し、危険人物の見逃しよりも無害な人物を疑う誤りを選びやすいというエラー管理理論を参考にすれば、厳罰傾向、犯罪不安、教示の効果のなさなどを統一的に説明できる可能性があることを論じる。

15:20～ FS6 刑事訴訟における「信頼性」概念の再検討・序論

外塚果林

洗足こども短期大学

刑事訴訟では、DNA 型鑑定をはじめとする科学的証拠について判断する際に「信頼性」という概念が用いられることが多い。しかしながら、刑訴法学（学説／法実務）および心理学において、信頼性の概念を統一しないまま用いてきた点にこそ、冤罪が生じうる原因が潜んでいるように思われるのである。そこで本報告では、刑訴法学における信頼性に関する概念の用いられ方を抽出し、そこから得られる所見をとおして、刑事訴訟において科学的証拠が争点となった場合の適切な事実認定のあり方について検討する。なお、本報告の全体像については、11 月に開催される法と心理学会第 27 回大会で報告する。したがって、本報告はその序論として位置付けられる。

15:30～ FS7 ドイツ法の議論を手がかりとした仮装身分捜査の法的課題

永田絢子

龍谷大学
大学院法学研究科

2025 年に策定された仮装身分捜査の実施要項は、いわゆる「雇われたふり作戦」を念頭に置いた制度であり、偽造した運転免許証等の提示を伴う捜査手法を任意処分として位置付けている。しかし、匿名・流動型犯罪グループによる犯罪への対応を考えると、現行制度の対象範囲や法的根拠についてはなお検討の余地があるように思われる。本報告では、日本の仮装身分捜査実施要項を概観した上で、ドイツにおける仮装身分捜査をめぐる議論を参照しながら、仮装身分捜査の根拠規定について検討する。その過程で、仮装身分捜査を規律する原理としてどのような視点が重要となるのかについても考察したい。

15:40～	FS8 ネット荒らしに影響を及ぼす心理的要因の検討 近年、インターネット上の問題行動が社会問題として注目されている。インターネット上の問題行動として、ネット荒らし、ネットいじめ、誹謗中傷などがあり、心理学領域では研究がされている。本発表では、現在進めている心理的要因（パーソナリティ特性・認知的要因）とネット荒らしとの関連についての調査内容を報告する。ネット荒らしの生起には、パーソナリティ特性である Dark Tetrad が影響することが先行研究で報告されている。また、行動に対する認知も関連すると考えられることから、これらの要因に着目して検討を進めている。さらに、報告内容をもとに今後の課題について整理し、参加者との議論を通じて多角的な視点から研究を深める機会としたい。	齋藤礼奈	愛知学院 大学 大学院 心身科 学研究科
15:50～	FS9 対面・Web 方式の模擬家事調停における申立人の印象の差異：日本語版 Big Five Inventory-2 短縮版を用いた比較 対面と Web 方式の模擬家事調停を行い、調停員の申立人に対する印象を比較した。夫の暴言に苦しむ女性の離婚申立（事例 1）と、夫と仕事に対する価値観の相違が大きくなった女性の離婚申立（事例 2）の 2 種のシナリオを用い、対面または zoom で調停を行った。大学生 62 名を 4 条件のいずれかに無作為に割り当て、調停員として参加し、申立内容や申立人の印象を評価するよう求めた。申立人の印象評定には日本語版 Big Five Inventory-2 短縮版（吉野他、2025）を用いた。事例 1 において、5 つの特性のいずれも対面と Web の差がなかったが、事例 2 においては、勤勉性の評定が対面より Web 条件で有意に低かった。このような申立人の印象の差異と申立内容の評価の関連を検討する。	赤嶺亜紀	名古屋学 芸大学
16:00～	FS10 視覚シンボルの記憶に対する感覚運動情報の影響 単語認知研究では、対象の感覚運動的性質が強いほど処理が促進されることが知られている。同様に記憶テストでもこの促進効果が報告されてきたが、近年、詳細な分析によ	太田直斗	愛知淑徳 大学

って、感覚運動情報の豊富さがかえって誤警報（False Alarm）の上昇を招くという相反する結果も示されている。このように単語を刺激とした記憶と感覚運動情報の検討が進む一方、視覚的対象における検討は遅れている。そこで本研究では、視覚的対象（ピクトグラム）の記憶と感覚運動情報との関連を検討した結果を報告する。特に、ヒット率などの行動指標の観点から、先行の単語研究で得られた知見との差異について議論する。

16:10～ FS11 感情制御方略が社会的逸脱行為に与える影響(修士論文進捗報告)

岩住武弦
愛知学院
大学大学
院心身科
学研究科

本発表では、自己破壊欲求から社会的逸脱行動へ移行する過程において、認知的な感情制御が防御・干渉要因として機能する可能性を検討する研究の現状を報告する。前回のオンライン研究会で受けた指摘を踏まえ、欲求・行動・感情制御の関係を整理し、理論的枠組みを再検討した結果、欲求と衝動性の因果モデルの検証は中止し、ストレス・コーピングと感情制御の類似性から論を展開する必要性が示された。今後、関連概念と分析・測定方法をさらに精緻化し、最適な方略と感情制御が社会的逸脱行動の予防と心理的支援につながる研究へ発展させていくため、本合宿での議論にて研究を深める機会としたい。

16:20～ 閉会のあいさつ、連絡事項のアナウンスなど

カンパ出資者御芳名（敬称略）

金額・50 音順

金 2 万円

笹倉香奈

金 1 万 5 千円

田中晶子

金 1 万円

相澤育郎

赤嶺亜紀

井奥智大

指宿信

佐藤伸彦

藤田政博

緑大輔

向井智哉

綿村英一郎

金 5 千円

武田悠衣

外塚果林

廣田貴也

福島由衣

金 3 千円

太田直斗

以 上

★ ご協力いただきまして、誠にありがとうございました！！